



安波山から見下ろす気仙沼市街地
(2017年4月15日 矢ヶ崎太洋 撮影)

地理空間学会ニュースレター

TOPICS

- ・第10回大会のお知らせ
- ・第10回大会巡検のご案内
- ・第9回大会報告
- ・第9回大会巡検報告
- ・『地理空間』第9巻刊行のお知らせ
- ・学会からのお知らせ
- ・コラム「わたしのフィールドから」(矢ヶ崎太洋)
- ・寄贈図書

JAGS

 **第10回大会のお知らせ**

2017年(第10回)大会を7月1日~2日に開催いたします。大会概要を以下のとおりお知らせいたします。研究発表とご参加をお待ちしております。

【日程】

7月1日(土):

- ・一般口頭発表, 一般ポスター発表
- ・評議員会, 総会, 表彰式, 懇親会

7月2日(日):

- ・巡検「水と緑の街、国分寺・府中歴史探訪
一崖線と台地が育んだ街―」(東京都国分寺市・府中市)

【会場】 筑波大学 東京キャンパス文京校舎

(東京都文京区大塚 3-29-1)

【交通】

東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車, 「出口1」より徒歩
5分程度

(参考ウェブサイト)

http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html



【研究発表募集】

申込み締め切りは 5/19（金曜）、発表要旨原稿締め切りは 6/6（火曜）です。みなさまふるってご応募ください。

※応募要領に変更がありますので注意してください。

○今年からの変更

申し込みは原則としてウェブサイトへの入力によって行う。

○2016 年度からの変更

申し込みには要約（100 字程度）の記載を求める。発表要旨原稿は大会後にニュースレターで公開される。

【発表申込み要領】

下記 1)～9) の要領にて発表（口頭またはポスター）を募集します。よくお読みのうえお申し込みください。

- 1) 単独発表は会員に限る。共同発表の場合には発表者に会員が 1 名以上含まれれば他発表者（筆頭者含む）が非会員でも発表可。
- 2) 同一の筆頭者の発表は口頭発表・ポスター発表にそれぞれ 1 つずつまで可。
- 3) 口頭発表の時間は質疑応答・交替をあわせて 20 分ないし 25 分。詳細は申込み締め切り後、申込者に通知する。
- 4) ポスター最大サイズは申込みに通知する。
- 5) 優秀ポスター投票対象は筆頭発表者が本年 3 月末日において 35 歳未満の会員であるものに限る。

- 6) 申込み者は口頭・ポスターとも、5 月 19 日（金曜）までに以下のウェブサイトにおいて必要項目を入力し送信することによって申し込むこと。この方法が取れない場合には集会委員会

（jags-meeting@geoenv.tsukuba.ac.jp）へ相談すること。申込み締め切り後の発表題目変更はできない。

＜申込み用ウェブサイト＞

<https://goo.gl/forms/TksAr2pOcD5C51R03>

または

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeGBjdhxD58GkH2xZqgn6fpbaJB4uFxFXUozV28cavyLxkbWAQ/viewform?usp=sf_link

- 7) 常任委員会において受理を確認された申込みにには、集会委員会からその旨を連絡する。
- 8) 受理された発表者は、発表要旨原稿ファイルを作成し、6 月 6 日（火曜）までに集会委員会（jags-meeting@geoenv.tsukuba.ac.jp）へ送信すること。様式及び送信方法は申込み者のメールアドレスへ集会委員会から連絡する。
- 9) 発表要旨原稿は大会後にニュースレター記事として Web サイトで公開される。著作物の利用には注意すること。

お問い合わせは地理空間学会集会委員会

<jags-meeting@geoenv.tsukuba.ac.jp> へお寄せください。

第 10 回大会巡検のご案内

7 月 2 日（日）に大会巡検がございます（雨天決行）。

【巡検テーマ】

水と緑の街、国分寺・府中歴史探訪

— 崖線と台地が育んだ街 —

【オーガナイザー】

麻生紘平・小室 譲・周 宇放（筑波大・院）

【内 容】

東京の国分寺市・府中市に関する史跡、工業、緑地、農業、観光、文化

【交通手段】

徒歩および公共交通機関（路線バス）を用いての実施

【集合場所・時刻】

9:30 JR 中央線・西武線国分寺駅

【解散場所・時刻】

16:30 頃 サントリー武蔵野ビール工場前（予定）

【参加費】

1,000 円程度を予定 ※昼食代別

巡検に関するお問い合わせは

麻生 (s17302015@s.tsubakuba.ac.jp) へお願いします。

※巡検の参加には事前の申し込みが必要です。

巡検参加ご希望の方は、下記のアドレスから登録フォームにアクセスし、参加登録を行ってください。

<https://goo.gl/forms/9fmYm3wdqOvgyiql>

締め切りは6月16日(金)15:00です。具体的な巡検行程、最新の情報につきましては、地理空間学会HPの大会情報のページ (<http://jags.ne.jp/archives/1501>) に随時掲載します。なお、巡検行程や巡検の都合上、定員を25名とし、定員を超えた場合は、会員を優先させていただきます。ご了承ください。



第9回大会報告

2016年6月18日(土)に筑波大学筑波キャンパスにおいて第9回大会が開催されました。大会参加者83名。以下のシンポジウムと研究発表が開催され、活発な議論が行われました。

【シンポジウム】

「増加する在留外国人とホスト社会としての日本
—その動向と課題—」

○オーガナイザー 山下清海（筑波大）

○発表者・題目

S01 山下清海（筑波大）：在日外国人の日本社会への適応戦略の多様化

S03 福本 拓（宮崎産業経営大）：現代日本における国籍取得に伴うエスニック・バウンダリーの溶解—空間的側面に着目して—

S04 片岡博美（近畿大）：在留外国人を交えた地域防災を考える—日系ブラジル人の事例から

【一般口頭発表】

101 佐野浩彬（筑波大・院）：徒歩避難に伴う環境的影響を考慮した津波避難圏域の分析—静岡県浜松市西区を事例に—

102 吉次 翼（慶應大 SFC 研）・矢ヶ崎太洋（筑波大・院）：

宮城県石巻市における復興事業の進捗と都市構造の変容

103 Ronald C. Estoque（筑波大）：Spatial relations between land surface temperature and impervious surface and greenspace density in Bangkok, Jakarta and Manila

104 澁谷和樹（立教大・院）・杜 国慶（立教大）・野津直樹（㈱ナビタイムジャパン）：APP データにみるインバウンド訪問者の流動構造

105 小林岳人（県立千葉高）：旅行ブログを用いた観光行動の時空間分析—訪都外国人旅行者を対象に—

106 久保倫子（岐阜大）・駒木伸比古（愛知大）・田中健作（豊田工業高専）：岐阜市郊外住宅地における高齢化・空き家化の進展と居住環境の実態

107 栗林 賢（北海道教育大）：JA による卸売市場の集約化とその背景—JA つがる弘前を事例に—

108 白坂 蕃（東京学芸大・名誉）：パミール北部カラークル村における“遊牧的” 牧畜

【ポスター発表】

P01 小泉茜彩子（筑波大・院）：国際合併企業における企業空間の変容—サハリン 2 プロジェクトの運営

企業を事例に一

P02 松山周一（筑波大・院）：マンガ家の場所の経験と描写について一北条司を事例に一

P03 橋爪孝介（筑波大・院）：伊勢志摩サミットにおける警備態勢の時空間展開

P04 金子紗恵（筑波大・院）：都市観光におけるコミュニティサイクル利用観光者の行動特性
一東京ベイエリアを事例として一

P05 渡辺隼矢（筑波大・院）：位置情報付き Twitter 投稿データを利用した観光行動の可視化
一金沢市を事例に一

P06 高原祥樹（筑波大・院）：讃岐うどんブームにおけるフードツーリズムの形成・継続要因

P07 武智 玖海人（筑波大・院）：栃木県日光地域における訪日外国人観光による地域性の創発過程

○会員による投票の結果、小泉茜彩子会員・武智玖海人会

員・渡辺隼矢会員が優秀ポスター賞を受賞しました。

※総会終了後、筑波大学筑波キャンパス第二エリア小食堂で懇親会が開催されました。参加者 37 名。



写真 一般口頭発表の様様

（2016 年 6 月 18 日 渡辺瑛季 撮影）

第9回大会巡検報告

大会 2 日目の 6 月 19 日に東京湾岸地区で地理空間学会第 9 回大会巡検が行われました。「“TOKYO 2020” がもたらす水彩都市の空間再編一土地利用から紐解く港湾埋立の歴史とこれから一」をテーマに、月島、築地周辺とお台場、豊洲周辺の新旧 2 つの埋立地の開発から東京のウォーターフロントが再編される様子を見学しました。

当日は快晴のもと 32 人の方にご参加いただき、9 時 30 分に東京メトロ東西線門前仲町駅を出発し、江戸、明治時代のウォーターフロントであった門前仲町や月島の街並みを眺めながら、勝鬃橋を渡って築地場外市場まで歩きました。埋立地である月島や勝どきには現代的な高層マンションが立ち並び、漁業や舟運を中心とした地域からの転換も進んでいます。

築地場外市場にて昼食をとり、13 時より午後の部です。午後は浜離宮からお台場海浜公園まで、水上バスで移動し

ました。水上バスのデッキからは、2020 年の東京オリンピックを原動力とした地域再編の現状と展望を、今まさに開発の進むウォーターフロントの景観から見る事ができました。その後は東京みなと館に入り、新旧の埋立地を



写真 お台場にて

（2016 年 6 月 19 日 松原伽那 撮影）

見下ろすとともに、東京湾と埋立ての進展に関して説明を受け、資料や模型を見学しました。最後にゆりかもめに乗って有明や豊洲新市場を見ながら豊洲駅まで行き、臨海副都心の交通や防災、商業について観察し、巡検を終了しました。

資料の作成や現地での解説は、筑波大学大学院生の方にご協力いただきました。また当日午前は気温が高くなった

一方で午後には一時小雨が降るなど天候が不安定な中、参加者の皆様には長い距離を歩いていただきトラブルもなく終了できました。巡検にご参加いただきました皆様と、ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

(オーガナイザー 猪股泰広・玉 小・佐野浩彬・曾 斌
丹・中川紗智・本多広樹)



『地理空間』第9巻刊行のお知らせ

機関紙「地理空間」第9巻1号が2016年6月20日に、2号が2016年12月20日に、3号(オンライン号)が2017年2月28日に発行されました。掲載内容は以下の通りです。1号、2号、3号の全文はホームページでご覧いただけます。

01号

【リサーチ・ペーパー】

高橋昂輝：北米都市の業務改善自治地区 BID：トロントに
みるローカルガバナンスとエスニックブランディング

淡野寧彦：北東北における飼料用米の活用による耕畜連携
の進展とその意義—「日本のこめ豚」事業を事例に—
大塚直樹・丸山宗志：ホーチミン市におけるバックパッカー
エリアの空間的特徴

【特集】「カナダ・ブリティッシュコロンビア州における
農村空間の商品化」

田林 明・仁平尊明・菊地俊夫・兼子 純・トム=ワルデ
チュック：カナダ・ブリティッシュコロンビア州のロー
ワーメインランド地域におけるサークル・ファーム・ツ
アーの意義

仁平尊明・田林 明・菊地俊夫・兼子 純・トム=ワルデ
チュック：カナダ・ブリティッシュコロンビア州のロー
ワーメインランド地域におけるファーム・ダイレクト・
マーケティングの特徴

菊地俊夫・兼子 純・田林 明・仁平尊明・トム=ワルデ
チュック：カナダ・ブリティッシュコロンビア州のバン
クーバー島カウチンバレーにおけるワイナリーの発展

にみる農村空間の商品化

矢ヶ崎典隆：カナダ・ブリティッシュコロンビア州オカナ
ガンバレーのケローナ地域におけるワインツーリズム

【書評】

手塚 章：大嶽幸彦著『探検家と地理学者—18世紀フラ
ンスの啓蒙思想と地誌学—』

山下清海：戸井田克己著『青潮文化論の地理教育学的研究』

石井久生：山下清海著『世界と日本の移民エスニック集団
とホスト社会—日本社会の多文化化に向けたエスニック
・コンフリクト研究』

仁平尊明：アンガス・ライト、ウェンディー・ウォルフ
ード著・山本正三訳『大地を受け継ぐ

土地なし農民運動と新しいブラジルをめざす苦闘』

井口 梓：菊地俊夫・松村公明編著『文化ツーリズム学
(よくわかる観光学2)』

藤田和史：鹿嶋 洋著『産業地域の形成・再編と大企業
日本電気機械工業の立地変動と産業集積』

【例会要旨】

【学会記事】

〇2号

【リサーチ・ペーパー】

澁谷和樹：外出時間にみた大都市圏郊外住民の余暇活動の空間構造—町田駅周辺住民を対象に—

形田夏実・吉田国光：生産・流通の動向からみた「加賀野菜」をめぐるブランド化の諸相

兼子 純・菊地俊夫・田林 明・仁平尊明・トム=ワルデチュック：バンクーバー島カウチンバレー地区における農村観光の構造

【地理資料】

中村容子：高知市のNHK大河ドラマによる観光振興

【書評】

張 貴民：山下清海著『新・中華街 世界各地で<華人社会>は変貌する』

筒井由起乃：久木元美琴著『保育・子育て支援の地理学—福祉サービス需給の「地域差」に着目して—』

【例会要旨】

【学会記事】

〇3号

【特集】「増加する在留外国人とホスト社会としての日本—その動向と課題—」

山下清海：シンポジウムの趣旨

【特集号論文】

山下清海：増加・多様化する在留外国人

—「ポスト中国」の新段階の変化に着目して—

福本 拓：現代日本における国籍とエスニシティの揺動

—その空間的側面に着目して—

片岡博美：地域防災の中の「外国人」—エスニシティ研究から「地域コミュニティ」を問い直すための一考察—

【シンポジウムの総括】

山下清海：在留外国人に関する地理学研究の課題

※会員の方で、本誌がまだお手元に届いていない場合は、学会事務局までご連絡ください。

学会からのお知らせ

<会計委員会からのお知らせ>

1. 会費納入のお願い

多くの方々から会費の納入をいただいておりますが、若干名、過年度の会費納入がお済みでない方もいらっしゃいます。未納の方は、「地理空間」第9巻2号に同封した振込用紙でお支払いください。納付したか不明な方や振込用紙をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。大学を通じて電子振込みをされる場合には、必ず氏名と所属先の明記をお願いいたします。

[年会費の振込先]

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00120-5 口座番号：779957

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900
店番：019 店名：〇一九店（セ”ロイチキュウテン）
預金種目：当座 口座番号：0779957
受取人名：チリクウカンカ”ツカイ

(ウ) 年会費

一般会員 4,000円 大学院生会員 2,000円
学生会員 1,000円

2. 「地理空間学会学術基金」の募金について

「地理空間学会学術基金」の募金活動について、会員の皆さまの一層のご理解とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

[地理空間学会学術基金の内容]

○名称：地理空間学会学術基金

○目的：地理学の優れた研究者を育成することを目的として、その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

○募集対象：本学会の活動理念を理解し、本寄付の趣旨にご賛同いただける方。

○ご依頼額：1口2万円（何口でも可能です）

[振込方法]

(ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00150-3 口座番号：707452

(イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九店（セ”ロイチキュウテン）

預金種目：当座 口座番号：0707452

受取人名：チリクウカンカ”ツカイカ”クシ”ユツキケン

※ 基金への寄付をいただいた方のお名前は、機関誌「地理空間」やホームページ等に掲載させていただきます。お名前の掲載をご希望でない方は、「匿名希望」とご記入ください。不明な点は、事務局までお問い合わせください。

<編集委員会からのお知らせ>

1. 次号以降の投稿について

機関誌「地理空間」の原稿は随時受け付けており、査読を経て受理された論文から順次掲載して参ります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員の皆様の活発な投稿をお待ちしております。投稿規定や執筆要領については、地理空間学会ホームページをご覧ください。

2. 定期購読のお願い

本学会の活動を知っていただくため、会員の皆さまの研

究室や大学・高校の図書館等での「地理空間」の定期購読をご検討いただけますようお願い申し上げます。ご購入いただける場合には、学会事務局までお知らせください。

3. 「地理空間」掲載論文のリポジトリ等への掲載について

掲載誌が刊行されてから半年を経過した場合には、大学等の学術リポジトリや著者本人のホームページ等へ自著の論文の掲載を認めます。掲載論文の電子ファイルが必要な方は、学会事務局までご連絡ください。



コラム「わたしのフィールドから」

矢ヶ崎太洋（筑波大・院生）

私の研究フィールドは宮城県気仙沼市舞根です。舞根は舞根湾（写真1）を中心とした農山漁村で、漁業を中心として農業や林業を生業としてきました。舞根の読み方は「モウネ」でアイヌ語に由来しているとされています。このことから舞根の歴史は東北地方がアイヌ圏であった時代まで遡ります。地域の中心である瀬織津姫神社は養老2年（718年）に熊野から勧請された岩手県一関市の室根神社の仮宮であったとされています。この経緯から舞根と室根の関係は深く、室根神社特別大祭では舞根の住民が、室根山の見える位置から汲んだ海水と御神馬の使うウシコ



写真1 舞根湾

(2016年4月23日 矢ヶ崎太洋 撮影)

ロシから作られた鞭を献納します。これに加え、「森は海の恋人」の活動で室根山に植林が行われるなど、現在でも深い関係を維持しています。

古い歴史を持つ舞根は2011年の東日本大震災で津波による大きな被害を受け、住民主体で防災集団移転を行いました。2016年4月に造成地が引き渡され、住民はこぞって家を建てました(写真2)。現在では被災した瀬織津姫神社を再建(写真3)し、復興が一息つきました。東日本大震災の被害を受けた三陸沿岸市町村の復興はまだ道半ばです。次の休日は復興の現況と海の幸を目当てに足を運んではいかがでしょう？



図1 気仙沼市舞根の位置



写真2 完成した防災集団移転地

(2016年4月23日 矢ヶ崎太洋 撮影)



写真3 再建した瀬織津姫神社

(2015年10月17日 矢ヶ崎太洋 撮影)

寄贈図書

2017年4月4日に、地理情報システム学会より下記の図書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。
 地理情報システム学会 25周年記念組織委員会 2017. 『地理情報システム学会 25周年記念誌』.

編集後記

寒暖差の激しい冬が終わり、うらかな陽気の続く春がやってまいりました。本年度は7月1日に筑波大学東京キャンパスを中心に大会を開催します。皆様のご発表、ご参加を心よりお待ちしております。

ニュースレターでは学会に関連した情報を適宜掲載していきますので、掲載すべき情報やご要望がございましたら、事務局までお寄せください。最新の情報は学会ホームページで随時更新しております。本会では、会員間の情報交換の手段として、メーリングリスト(jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp)を開設しております。すでに多くの方にご参加いただいておりますが、まだ登録されていない方でメールアドレスをお持ちの方は、ぜひご参加ください。

地理空間学会ニュースレター 第28号

発行日：2017年4月28日

発行所：地理空間学会事務局

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学生命環境系地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/FAX 029-853-6873

E-Mail geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp

URL <http://jags.ne.jp/>